

「アジフライのイベント」「御朱印スタンプラリー」

中学生「まちづくり」提言へ議論

松浦市御厨町の市立御厨中（福永真校長）で4日、「住み続けたいまちづくり」を考える授業があり、3年生40人が中学生の視点で市長に提言する政策を話し合った。

公民的分野学習の一環。生徒は8班に分かれ、それぞれが考えた政策を①市の強みを生かす②財政面で無理はないか③将来も継続できるか④市民の幸せや利益になるか―の視点で点検。政策の再構築に取り組んだ。



「住み続けたいまちづくり」の政策について意見を交わす中学生

＝松浦市立御厨中

松浦・御厨中 公民的分野学習の一環

ある班は「アジフライのイベント開催で松浦をPR」「有名神社の御朱印でスタンプラリー」などの政策をチェック。今回、県立松浦高地域科学科の1年生10人も各班に加わり、議論の進め方や取りまとめ方などを助言した。

高校生は「活発な議論ができた」、中学生は「高校生の助言で詳しく考えることができた」「実現性が増した」などと感想を述べた。今回は再構築した政策を発表する。
（大島信裕）